

日本最南端の自然文化都市



平和への願い

「慰霊の日」（6月23日）は、平和の尊さを確認し、再び戦争による惨禍が起ることのないよう、人類普遍の願いである「世界の恒久平和」を希求する日です。

終戦50年目の「慰霊の日」に石垣市では「世界平和の鐘・鐘打式」と「戦没者追悼式並びに平和祈念式」が行われました。式には遺族や一般市民とともに各小、中、高校の代表が参加し、平和への願いを込めて「平和の鐘」の鐘打や、献花を行いました。

（写真・八重守之塔の会場には新川小学校の皆さんが造った平和のシンボル鳩の幕が掲げられました。また、いしがき児童合唱団は「ふるさと」など2曲を合唱し、平和の歌声がパンナーの森にこだましました）

今月の主な内容

平和祈念式典…………… P 2	洞窟（ガマ）公演…………… P 5
国勢調査員募集…………… P 2	緑の戸籍簿調査開始…………… P 7
平和宣言…………… P 3	市史のひろば…………… P 9

1995年 7月号
No. 287

（平成7年7月10日発行）

人口と世帯数

総人口	42,842 (+ 47)
男	21,562 (+ 19)
女	21,280 (+ 28)
世帯数	15,056 (+ 8)

（平成7年5月末日現在）

石垣市を 世界平和の礎に

太平洋戦争・沖縄戦終結五十周年

戦没者追悼式並びに 平和祈念式

今年には太平洋戦争・沖縄戦が終結してから五十周年の歴史的な節目の年にあたり、六月二三日の「慰霊の日」は県内各地で追悼式や平和祈念式典等が行われました。「慰霊の日」は、悲惨な歴史を厳粛に受け止め、平和の尊さを確認し、再び戦争による惨禍が起ることのないよう、人類普遍の願いである世界の恒久平和を希求する日です。

石垣市では「戦没者追悼式並びに平和祈念式」が八重守の塔で多くの市民が参列して行われました。

式では玉城奈緒子さん（石垣小学校六年）、黒島藍さん（石垣第二中学校三年）、次呂久博之君（八重山商工高校一年）の三名が「平和への誓い」を朗読し、石垣児童合唱団が合唱しました。式では開会のことばに続いて戦没者の冥福を祈り、参列者が一分間の黙とうを行いました。

大濱市長は「私たちは不戦の誓いを明記した平和憲法の理念を生かし、戦争につながる



多くの市民が参列し、恒久平和を祈りました

るすべての行為を否定し、平和の尊さを内外に訴え続けていかなければなりません。市民皆様一人ひとりとともに平和への祈り、平和への誓いを決意も新たに心に刻んでいきたい」と式辞を述べました。

この後、嘉手川重昭八重山支庁長（知事代理）、高木深證県遺族連合会八重山支部長が「追悼のことば」を述べました。

式典終了後は、遺族など一般参列者が献花と焼香を行い戦没者の冥福と世界の恒久平和を祈りました。

選管だより

参議院議員通常選挙

7月23日（日）午前7時～午後6時

無駄にしないで下さい、あなたの一票を

- 入場券はハガキで郵送します。住所・氏名・投票所を確認し投票日には入場券を必ず持参して下さい。
- 投票日にやむをえない事情で投票できない人は、前もって不在者投票をすることができます、入場券と印鑑をもって選挙管理委員会へお出かけください。

時間 午前8時30分～午後5時まで

その他、詳しいことについては石垣市選挙管理委員会へお問い合わせください。

☎2-9911（内線468～470）・2-8544（直通）

平成7年 国勢調査

調査員募集中

今年の10月1日に全国一斉に国勢調査が行われます。石垣市では、280名の調査員を募集しています。募集期間は7月20日（木）までです。

調査員の仕事

国勢調査員は、担当地域の世帯を訪問して調査票を配付し記入を依頼するとともに記入済みの調査票の回収にあたります。回収した調査票の記入もれや記入の誤りをチェックし、整理して決められた日までに国勢調査指導員に提出します。

応募先

石垣市総務部企画室広報統計係

☎2-9911（内線133・134）・2-1243（直通）

平和宣言

人類普遍の願いであり崇高なる理想、それは平和。

思い返せば、郷土沖縄は、日米最後の決戦場となり、多くの人命が奪われ、かけがえのない尊い文化遺産も失った。

あれから半世紀、すでに50年の月日が流れた。この歳月をしても私たち県民の受けた苦しみと心の傷は、癒えることはない。八重山諸島においても、あの戦争は、未曾有の体験として、人々の心の奥深く生き続けてきた。

まがうことなく、市民はこの街に、この山野に戦塵にまみれ、空襲におびえ、マラリアに倒れていった。

そして戦後。飢餓とマラリアのなかを起ち上がり、以来半世紀。ふるさとの歴史と風土、そこに生きる人々に「平和の心」が絶えず培われ、ひたすらその尊さを訴え、子どもたちに悲惨な戦争の教訓を語り続けてきた。

しかしながら今日、今なお世界各地で紛争が後を絶たない。それらの戦争にいかなる理由があれ、世界平和に深刻な脅威をもたらしていることを私たちは憂える。

私たちは、平和な世界の実現を願う。不戦の誓いを明記した日本国憲法の崇高な理念が国際社会において実現することも願う。

私たちは、人種も、宗教も、文化も何ひとつ隔てることなく運命を共にしなければならぬ人類と言う名の地球の仲間。

一切の核兵器も武器も必要ない世界の実現をこそ願う。来るべき21世紀を平和の世紀とするために。

戦後50年

私たちは、この歴史の節目に誓う

二度と戦争を繰り返さないことを

一人ひとりにその責務と使命があることを この石垣市を、世界平和の礎とすることを

平成7年6月23日

石垣市長 大瀨 長 照



大瀨市長が平和宣言を行ないました



石垣小学校六年 玉城 奈緒子

命のかがやきを求めて

みなさんは、戦争のおそろしさを知っていますか？
私は知っていますが、私の想像をはるかに越えた恐ろしい戦争があるのでしよう。目の前で人が死んでいたり、満足にご飯も食べられなかったり、とてもひどいけがを負ったり。みなさんなら耐えられますか。

私だったら正直言って、たえきれません。この美しい地球上で、同じ空気を吸って、同じ人間なのに、どうして争い事をするのでしょうか。私だって、兄弟や友達と意見がすれ違ってケンカをすることもありますが、そのケンカを越えた恐ろしいケンカを想像できますか。
私は「ひめゆりの塔」という映画を観て、「よくたえきれたね、えらいなあ」と思いました。

彼女たちは、あのような苦しい中で頑張って、人の命を救おうとしているのです。

それも親とも会えず、友達や病人が死んでいく中、どんなに苦しかったでしょうか。

どんなにつらかったでしょうか。

残酷過ぎて、見ている人にも苦しさ、辛さが伝わってきます。

この戦争でどれだけ、尊い命が失われたことでしょうか。

あのころは確かに、国を広げようと必死だったと思いますが、私は「国のために戦おう」とは思いません。なぜなら、このたくさん尊い命に比べたら「広い国」なんて比べものにならないのですから。

人を殺す戦争を計画した人たちはその時、どうして罪にならなかったのでしょうか。

これは、立派な罪だと思います。国のためだと言って戦い、大ケガをした兵士も、「どうしてこういうことになったんだ」と後悔をしたでしょう。

みんなのために戦っていても、みんなはちょっとうれしくなかったと思います。

こういう争いごとよりも、「元の生活にもど

りたい」「早く平和になってほしい」そして、「生きたい」これが、みんなの願いだったのでしよう。

私はこの「ひめゆりの塔」という映画を観て「二度と戦争をしてはいけないんだ」と思いました。この映画を観た人、だれもが思ったことでしょう。

戦争は罪のない人を殺し、これからだという命をなくします。私は悲しく思います。

それでは戦争をしないためには、どうすればよいのでしょうか。

私が思うには、みんなのことを考える。ケンをなくす。正しいか正しくないことか、考えて行動する。ほかにも色々あると思います。でもこの三つは大事だと思います。

みんなが平和と愛と友情を大切にすれば、命のかがやきの分かる、命のかがやきが美しい人間になれるでしょう。

そして、私もそんな人間になってゆきたいと思えます。

戦争――

それは、にくしみで心がつまった

人間の戦い

ケンカをこえた

おそろしい戦い

絵の具の黒でぬりつぶした

黒よりも真っ黒な心して戦う

人と人との殺しあい

なみだをながして

戦争をにくむ

人の命を大切に

命のかがやきを求めて

平和宣言文公募
中学の部 最優秀作品

平和を願う



石垣第二中学校

黒島 藍

私の知らない戦争

たくさん命をうばいさった戦争

この美しい自然がこわされ
エメラルドの海が灰色に変わり
すべてが、焼け野原になってしまった

自然にだって人間と同じ命がある
その命を戦争で失った

夜でも、赤い光や血がとびちり
火が夜空を焦がすように燃え

黒々とした爆弾がうなりをあげ
人々の手は血まみれになり

自然は灰色になった
平和になった今でさえ

ある国では、今もひとつの命が消えていく
それでいいのかわからない

過去に起こった戦争だからといって
過去に解決されたわけではない

平和になったからこそ
今、命の尊さを訴えよう

命を無駄にせず
一人ひとりが平和を愛し

一日一日を大切に生きよう
助け合いながら生きよう

お年寄りも

大人も

子供も

ひとつの命を大切に

平和の道を一步一步ふみしめ

今日も願う、明日も願う

平和を愛するひとりとして

世界の平和を、地球の平和を

地球より重い生命(いのち)



八重山商工高校1年

次呂久 博之

戦争は人間にとって一番大切な生命(いのち)と心を奪

い、怒り、憎しみ、悲しみだけを残します。

人間の一人の生命は地球よりも重いといわれ

ます。この尊い生命を、人間同士の醜い争いで、

なぜ失わなければならないだろうか。

いかなる理由があっても、戦争は絶対にして

はならない。

戦争は、人間の生命ばかりでなく、人間が生

きる希望や夢さえも奪ってしまいます。

去る沖縄戦ではたくさんの県民が亡くなり、

そして苦しみました。

生まれたばかりの赤ちゃん、将来の夢を胸一

杯にふくらませていた青少年たち、そしてお年

寄りの方々が・・・

ここ石垣島でも、マラリアで亡くなった人が

大勢います。米軍の空襲や艦砲射撃から逃れるため、於茂

登山のふもとに避難し、マラリアの病気にかかったと聞きました。強制的に連れて行かれたところはマラリアの巣だった。

高熱にうなされながら暗い洞窟の中で息を潜めた日々は言い表しようのない不安と苦痛の連続であっただろう。

あれから三五年後に生まれた私は、戦争なんか知らない。

今年には戦後五十周年にあたるという。

ここまで平和を守り受け継いできた父や母に感謝したい。これからは私達が平和を守り創造していく時代。

私は人間として生まれたからには正義と平和を買って生きていく、そう心に誓いました。

これが私の平和宣言です。

そして、石垣市民をはじめ世界中の人々がそのような決意をして欲しいと心から願っています。

未来へ平和をもたらす「礎」とするために！

平和宣言文公募
一般の部最優秀作品

平和宣言

石垣市石垣三三五 宮里 テツ

昔、島人はひたいに汗し、ユンタ、ジラバやトゥバラーマで思いを交わして働く喜びをわかち合った。

村人は五穀豊穡の恵みに感謝し旗頭をおし立て、銅鑼や大鼓、小鼓を鳴らしてお嶽の杜に集い、巻踊りで歓喜した。

演劇 洞窟(ガマ)

沖縄戦終結50周年
記念公演



今年には沖縄戦終結50周年の節目の年にあたります。

石垣市では、太平洋戦争・沖縄戦終結50周年石垣市記念事業として様々な催しを実施しています。その一環として、戦場の実相を再現した演劇「洞窟(ガマ)」を公演します。

生と死のドラマ

この演劇は、「鉄の暴風」の吹き荒れた沖縄本島の避難壕の悲惨な実体を浮き彫りにし、洞窟(ガマ)に追い詰められた沖縄の人々の生と死のドラマを再現するものです。

平和の尊さを考えよう

戦争が終結して半世紀が過ぎ、その悲惨な歴史の風化が叫ばれる中、戦争の非情さや残酷さを舞台化した演劇「洞窟(ガマ)」を通して、平和の尊さを再認識しましょう。

歴史を語り継ぐ

そして、世界平和実現を目指し、二度と愚かな戦争を繰り返さないため、過去の歴史を貴重な教訓として次代に語り継ぎましょう。

市民多数のご来場をお待ちしています。

日時・平成7年7月16日

(日)午後7時開演

場所・石垣市民会館大ホール

入場料・1,000円

問い合わせ・石垣市民会館 ☎2-1515

海人は珊瑚の光る豊かな海に潜り、魚が湧き人魚の舞う環礁の沖から五色の大漁旗を南風になびかせてほほえんだ。

霊峰於茂登に白雲たなびく朝まだき、大アコウの木から東天めざして羽ばたいた鷲の勇姿に夢を託した島人たち。

村々はのどかで平和であった。

五十年前、わがふるさと「鉄の暴風」が吹き荒れ、空襲や艦砲射撃で民家は炎につつまれた。洞窟や山麓に追いやられた村人は、飢餓とマラリアに苛(さいなま)されて死んでいった。

生命あるものすべてを殺すむごいもの、人間が人間でなくなるという。それが戦争だ。

国内唯一の地上戦で悲惨を極めた沖縄戦、戦争マラリアの戦禍はその証(あかし)である。

戦後五十年の今、私たちは戦争で非業の死を遂げた無辜の民二十万余の御霊に鎮魂の祈りを捧げ、反戦平和を誓い、沖縄の心「命どう宝」を子々孫々に語り継ごう。

平和は与えられるものでなく、ふだんの努力で克ちとるものである。

今、戦後五十年のこのとき、非核平和宣言都

市石垣市から平和を希求する心を発信しよう。人類の恒久平和を祈念し世界平和の鐘を響かせ、決意新たに、ここに宣言する。

平和の尊さを 世界へ発信

「慰霊の日」 世界平和の鐘鐘打式

「慰霊の日」の六月二三日「世界平和の鐘鐘打式」が新栄公園内の広場で行われ、関係者や一般市民、小中学校の代表多数が参列しました。



式では、はじめに大浜支部長が「二度と戦争による惨禍がもたらされることがないよう、わが国の最南端の地から



世界に向けて平和を続けていきたい」とあいさつ。続いて一日市長の添石寿代さん（八重山高校一年）が平和メッセージを朗読しました。

世界平和を祈願

世界平和の鐘の趣旨は、一切の差別にとらわれることなく、罪悪な戦争を地球から一掃し、核の廃絶を訴え、災害を相互扶助によりいやし、国際交流等を行ない見識や文化を高めていくことにあります。現在、世界十九ヶ国二ヶ所所で世界平和を祈願して打ち鳴らされています。

なお、当日は日本最北端の稚内市、宗谷岬平和公園においても、同時に世界平和の鐘が鐘打されました。

平和であるために



一日市長の添石さんも鐘打

一日市長 添石寿代

（八重山高校一年）

日本は、今年で戦後五十年目を迎えます。五十年という節目に当たる今年も、私たちが住む沖縄にとって特別な意味を持ちます。

それは唯一、国内で地上戦が行われ、多くの人が無念の死をとげたことです。

ここ八重山においても「戦争マラリア」に象徴されるように数多くの尊い命が失われたことを忘れてはいけません。今では本当にこんな場所で戦争が起きていたのだろうかと思うほど、石垣市も豊かになり、活気に満ちあふれています。

しかし、今なお癒すことのできない傷があります。それ

は戦争のために病んだ人々の心の傷です。家を失くし、友を失くし、家族までも失くし

た、その哀しみや怒りは一生癒（いや）すことのできない心の傷なのです。このようなあやまちを二度と繰り返さない為にも、戦争の体験者があの時の悲惨さを、これからの世代の人達に、言い伝えていかななくてはならないと思います。

戦争を知らない私達だからこそ、この慰霊の日を境に戦争で亡くなられた方々の冥福を祈り、平和の尊さや命の大切さについて考え直すべきだと思います。

海にひらこう われらの未来!



海の記念日 七月二十日
海の旬間 七月二十〜三十一日

情報 求めます

『緑の戸籍簿』 作成に向けてスタート

恵みをもたらす樹木

森林は、これまで私達の生活と密接に結びつき、多くの恵みをもたらしてきました。

屋敷のまわりにはフク木やガジュマルなどの古木がまだ数多く残っています。御嶽などにはアコウやアカギ、デイゴなどが境内に枝葉を広げています。河口付近にはマングロープ、山裾にはリュウキュウマツやアダン、ソテツなどの樹木が群生しています。

しかし、私達が豊かさを求める一方でその生育地が失われ数十年、数百年の間、緑の大地を育んできた巨樹、巨木、古木等がその姿を変えつつあります。

巨木・名木を調査保存

本市には、数多くの巨樹・名木等が自生しています。それらを広く市民に紹介し大切に保護、保存してゆくために『緑の戸籍簿』を作成することになりました。

そのため六月二九日より実

態調査を開始しましたが、調査が円滑に進められるよう、市民の皆様からの情報提供を呼び掛けています。

調査対象となる樹木は、巨樹・巨木・古木に限らず由来やいわれのある樹木や価値の高い珍しい樹木となっています。

親しみのもてる樹木を

調査は、「巨樹・巨木・古木」の生育状況、樹木の種類や分布状況などの分析も行い、冊子にまとめられる他、表示板を設置し市民や観光客が親しんでもらえるようにします。悠久の時間によって育まれ、長年の風雨にたくましく耐えてきた「巨樹・巨木・古木」などを大切に保存し健全な自然の生ける象徴として後世に残していくため、市民の皆様からの情報提供をお待ちしています。

【みどり推進課】

☎二一九九一一（内線三五三三）
二一―三五〇（直通）

男女共同参画型のまちづくりを

石垣市女性問題会議（大山トヨ会長）は六月五日、大濱市長に「石垣市女性行動計画案」を提言しました。

同会議は十九人の委員で構成され、二年間にわたり調査研究や地域懇談会などを開いて策定を進めてきました。

大山会長は、これまでの経過を報告し「一日も早い男女共同参画型社会のまちづくりを実現して頂きたい」と大濱市長に提言しました。提言を

受けた大濱市長は「大切な提言を市政に十分活かしていきたい」と述べました。



女性問題会議のメンバーが提言

最優秀に黒島さん・宮里さん 「平和宣言文（案）」入賞者決まる

太平洋戦争・沖縄戦終結五十周年記念事業の一環として行われた「平和宣言文（案）」公募の入賞作品表彰式が六月十七日に市役所会議室で行われました。

公募期間内に百七十七点（中学生の部百八点、高校生の部三点、一般の部六点）の応募がありました。

審査員による厳正な審査の結果、中学生の部で黒島藍さ

ん（石垣第二中三年）、一般の部で宮里テツさん（宇石垣三二五）の作品が最優秀に選ばれました。

表彰式では、大濱市長から入賞者一人ひとりに賞状と記念品が手渡されました。

大濱市長は「あのいまわしい戦争が終わって五十年が過ぎました。戦争の恐ろしさを二度と繰り返してはいけないという心を引き継ぎ、これか

らの社会を担う皆さんが平和を守る人間になっていただきたい」と述べました。

入賞者

【中学生の部】

- ▽最優秀・黒島藍（石垣第二中三年）
- ▽優秀・與座知愛紀（同）
- 仲里梨奈（同）
- ▽佳作・上地茜（石垣中三年）
- 前田裕美（同）
- 長浜美奈子（同）
- 山城広美（同）
- 新盛美奈（石垣第二中三年）
- 森田美希（同）
- 上唐学（同）
- 大原麻里（同）

【一般の部】

- ▽最優秀・宮里テツ
- ▽優秀・黒島健

健やかな青少年の育成を

青少年センターが開所式



した。

大湊市長は「市民が待ち望んでいた青少年センターが開所し、ここに拠点に新たな活動を展開し、同センターの目標が十分達成できるように心から願います」とあいさつしました。また、宜野座教育長は「学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を果たし、次代を担う青少年の健全育成にセンターが役立つよう市民の皆様との協力をお願いしたい」とあいさつを述べました。

青少年の悩み事の相談や非行防止などに取り組む拠点として「石垣市青少年センター」が六月九日に登野城の旧NHK事務所跡において開所しま

心がけひとつでのびる歯の命

デンタルフェア開催

平成七年度「歯の衛生週間」にちなんで第十八回よい歯のコンクールおよびポスター・作文の部の入賞者表彰式が六月四日市民会館中ホールで行われました。会場ではデンタ

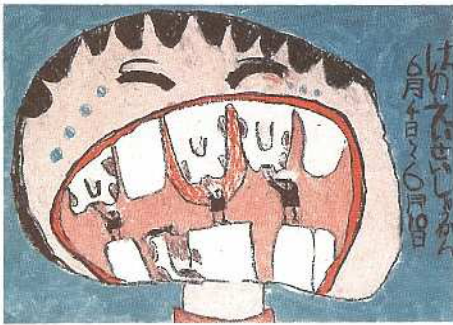
ルフェアも開催され、親子連れが会場を訪れ歯の検診や正しい歯磨きについての指導を受けました。

ご存知ですか 通信サービス

沖縄県身体障害者福祉協会では五月十七日「聴覚障害通信サービス」を開始しました。

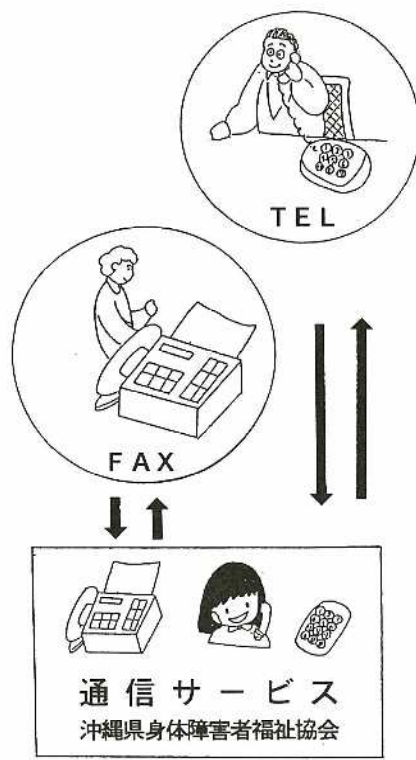
このサービスは聴覚障害者のファックスと一般の電話を中継するサービスで、聴覚障害者が緊急な用件や日常生活に必要な用件を伝える時に利用できます。

サービスの利用方法は、冲身協（県身体障害者福祉協会）へファックスすると通信係がその内容を電話に替えて、相手へ伝えます。利用時間は午前八時三十分



から午後五時までです。
【問い合わせ】
沖縄県身体障害者福祉協会
☎〇九八―八六三一―八三三四

FAX 八六二―三〇二二
石垣市福祉事務所福祉課
☎二一九九―一（代）
二一五〇四五（直通）



市民福祉に役立てて!!

大同火災が 車いすを寄贈

このほど大同火災（取締役社長・宇良宗真）は石垣市に車いすを寄贈しました。同社は九一年から車いすを寄贈しており、今年は十カ所の自治体と一病院へ合計三台を寄贈します。車いすは市民のニーズが高く利用効果も大きいことから、大湊市長は同社の好意に感謝し、「市民福祉の向上に役立たい」と述べました。



市史のひろば⑤

前勢岳南麓の

石積み遺構



古く、石垣島では、猪や放牧牛馬から農作物を守るために、耕地と山林原野との間に石垣を積み、農耕が行なわれていたといわれている。

その石積みのことをシー（瀬）あるいは、ウフジー（大瀬。大猪垣のこと）といひ、前勢岳の西方付近から築かれていたシーは、前勢岳の南麓を経て、パンナ岳の南麓、平得、大浜、宮良、白保の各村まで延びていたといわれている（平久保辺りまで延びていたとの伝承もある）。その後、農耕地が山林原野へと拡大し、牧場が主に山地

周辺へと分散してからは、各牧場ごとに、石垣を積み回すようになっていったようである（なかには、部分的に木の柵で囲っていた所もあった）。その牧場の石積みのもとも、やはりシーと呼んでいた。

シーがいつ頃から造られていたのか、記録や伝承が乏しく、よく分かっていないが、ヤマドゥミ（山止め。一定期間、山に入山することを禁止する年中行事）の際にシーの出入口の門で述べられていた口上のなかでは、石城山の神と仲間満慶山が造ったといった内容があり、かなり古い時期に遡るものとみられる。

かつて、シーの維持管理は猪害防止および放牧牛馬の管理の面から重要で、そのため、各村ごとにシーバン（瀬番。カキパンへ垣番）、マキパン（牧番）ともいう）と呼ばれる若者たちが、垣を巡視していた。

シーバンは、毎日、シーを一巡し、壊れた箇所などの点検を行ない、巡視後は、垣の上に設けたサン（藁を環状に曲げて結んだもの）置き場に、サンを置くことになっていた。

サン置き場は、数カ所にあつて、遠い所、不便な所、地形の悪い所にもあつて、サンを置くことは、巡視の証となっていた。

シーは、戦後まで維持管理されていた所もあり、現在でも、その遺構は、前勢岳の南麓をはじめ、川平、伊原間、平久保など、島内各地に残っている。

写真の石積みは、前勢岳の南麓に残っているシーである。

現在、石積みは一部分しか残っておらず、それに、高く積み残っている箇所も少ないものの、昭和二六年頃、安高原から平川俣に至る間の石積みの高さは五尺（約一・五メートル）程あったとされている（「海南時報」昭和二六年五月一四日付記事）。

特徴的なことは、石積みの内側（山側）が少し掘られていることである。それは、猪の前足は少し短いことから、勢いをつけて、石積みを飛び越えることができないうように掘られているのだといわれている。先人の知恵と労苦が偲ばれる遺構の一つである。

（総務部市史編集室）

募集

「心の輪を広げる体験文」
「障害者の日のポスター」

学校や社会活動等の体験を通じて福祉について学んだことや社会に訴えたいことを内容とする「心の輪を広げる体験作文」と「障害者の日のポスター」を、募集します。

募集の方法

① 心の輪を広げる体験作文

(1) 応募資格：小学生以上（盲学校、聾学校、養護学校の小学部、中学部及び高等部の児童生徒を含む）

(2) 応募方法：

①募集は、小学生、中学生、高校生と一般市民の3部門に区分する。

②原則として400字詰原稿用紙（B4版縦書き）を使用して下さい。

小学生、中学生は2～4枚程度、高校生・一般市民は5～8枚程度

③別紙に、タイトル、住所、氏名（ふりがな）、年齢（生年月日）、性別、職業又は学校名（学年）、電話番号その他参考事項（障害の有無等）を書いて応募作文に添付して下さい。

② 障害者の日のポスター

(1) 募集テーマ：障害者の日（12月9日）を広く国民に周知する内容のポスター

(2) 応募資格：小学生及び中学生（盲学校、聾学校並びに養護学校の小学部及び中学部の児童生徒を含む）

(3) 応募方法：

○募集は、小学生・中学生の2部門に区分する。

○規格は、画用紙B3版縦書きを使用

○作品には、福祉に関する標語を入れる12月9日は「障害者の日」の標語は、使わないこと

○別紙に住所、氏名（ふりがな）、年齢（生年月日）、性別、学校名（学年）電話番号、その他参考事項（障害の有無等）を書いて、応募作品に添付

*両部門の最優秀者は、12月9日（土）に東京へ招待し、表彰を行う

【応募期間】 平成7年7月7日（金）から9月8日（金）まで（当日必着）

【問い合わせ】〒900那覇市泉崎1-2-2 沖縄県生活福祉部障害福祉課

☎098-866-2190 FAX098-866-2190

消費生活 センターから

〈相談事例〉

昨年、新聞紙上に載っていた「懐かしい小学校時代の童謡カセットテープを無償で送ります」の広告を見て申し込みました。数日後、カセットテープが届き、中をあけて見るとテープの他に三万円の見書も入っていた。

広告にあった「無償」の意味を疑いながら、結局三万円を支払った。

このカセットテープの購入がきっかけとなりその後、多種多様の郵便物（ダイレクトメール）が、数社から送られて来るようになった。

自分で申し込んでもないし、見る気もしないので、今後送って欲しくないが何か良い方法はないでしょうか。

〈処理概要と留意点〉

まず、無償の意味がはっきりしないまま金額を支払ってしまったのは、ちょっとあきらかめが早かったようですね。

このような場合は、業者に交渉するか消費生活センター



等に相談してみるのが大切です。

安易な注文は要注意

家族構成や名前、生年月日まで明記されたダイレクトメールが届くことを不思議に思う事ありませんか。たとえば、入学時、頼みもしないのに様々なダイレクトメールが送られてきます。つい見てしまい、なぜか注文しないと損だと思ふ気さえ起きてきます。

このように、最近の子供をターゲットにしたもので増えてきているようですので安易な問い合わせや注文には要注意です。

今回のようにある一つの広告への申込みがきっかけとなり次々とダイレクトメールでの勧誘が始まる場合もあります。

メール・プレファランス
・サービス

そこで、ダイレクトメールを送って欲しくないと思うかたへのアドバイスとして（社）日本通信販売協会のM・P・S（メール・プレファランス・サービス）制度を紹介しています。この制度は通信販売のダイレクトメールを送って欲しくない場合に、文書またはハガキで自分の住所、氏名（ふりがな付き）、電話番号を明記し、協会事務局に申し出れば、会員会社については、

ダイレクトメールを送らないように処理してくれます。

又、それ以外の業者に対してダイレクトメールをストップして、と知らせたい時は「郵便物の受け取り拒絶」で業者に知らせる方法があります。それにはいくつかの条件（開封しない等）が必要で、返還等も出来ません。

〈個人のプライバシーを守るために〉

相手が誰だかわからない人

からのハガキや電話などで、住所氏名を知らせたり、内容不明なアンケート調査には、安易に応じないことです。詳しいことについては、社団法人日本通信販売協会、郵便局、宅配業者・や費生活センター等へお問い合わせください。

沖縄県消費生活センター

八重山分室

☎二二二八九

誇り持て 広げていこう 県産品



7月は県産品奨励月間です。県では、昭和59年7月に「県内企業への優先発注及び県産品の優先使用基本方針」を策定し、毎年7月を「県産品奨励月間」として産業界、消費者、行政が一体となった県産

品使用奨励運動を実施しています。

この運動は、県産品使用奨励の広報キャンペーン、一般公募によるふるさと企業訪問、物産展や講演会の開催、関係機関への要請行動等、各種の関連事業を集中的に展開することにより、県産品の良さをご理解いただくとともに、県産品使用の拡大を図り、本県産業の振興に貢献することを目的としています。

本年は、「誇り持て 広げていこう 県産品」の標語を掲げ、各種事業や広報キャンペーン等を実施しています。

県民の皆様には、本月間運動の趣旨をご理解のうえ、これまで以上に県産品をご愛用していただきますようお願い申し上げます。

問い合わせ：

沖縄県工業連合会 ☎(098)833-1349

沖縄県商工労働部工業振興課

☎(098)866-2337

技術を習得し就業条件の向上を 技術講習受講者募集要項

この講習会は、就職を希望する女性に対して能力の再開発のため技術習得の援助を行い、就業の拡大と就業条件の向上を図ることを目的として開催します。

科目：ワープロ、パソコン科

講習期間：平成7年8月15日～

9月12日

募集時間：午前9時30分～午後3時30分

月～金（土・日・公休日を除く毎日）

面接日：平成7年7月24日（木）

9時30分から、市役所2階

第1会議室

講習内容：ワープロ検定3級及びロータス入門

受講資格：習得した技術を生かした仕事に就業を希望する女性で、講習の全日程を出席できる者（但し、学生を除く）

受講料：無料

（但し、教材費は自己負担）

受付：お問い合わせ先

石垣市商工課

☎(09808)2-9911

沖縄県女性就業援助センター

☎(098)932-1536

第45回 社会を明るくする運動

ふれあいと対話が築く明るい社会

社会を明るくする運動は、法務省主唱で全国一斉に催されるもので、すべての国民が犯罪を防止するとともに、不幸にして罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

少年非行・交通事故が増加

石垣市の少年非行の現状を見ると、発生件数はやや増加しています。また、車社会を反映して交通事故が多発し、また万引き、自動車窃盗等の窃盗事犯も多くみられます。

更に少年非行につながる深夜徘徊、飲酒、喫煙等による補導件数が増えるなど、少年非行の問題も引き続き予断を許さない状況にあります。

社明大会へ参加を

このような非行をなくし、犯罪を防止するための社会を明るくする運動は、年間を通じて、根気強く継続して行なわれる活動であるが、特に7月1日から7月31日までの1か月間を、「社会を明るくする運動強調月間」として、次のような活動を計画しています。

【7月15日】深夜徘徊防止住民大会

*次の各地域でも「社明大会」が行われます。

○大浜地区 ○宮良地区 ○白保地区 ○川平地区

○名蔵地区（その他、7月から8月にかけて、ミニ集会や研修会も予定しています）

第13回 J T A 「あおぞら図画コンクール」

このコンクールは「住んでいる島の良さ」を新たに見直し、自然や地域社会に心を配り、感受性豊かな生き方につながるきっかけになることを目的としています。

【応募資格】

沖縄県内の離島に存在する小学生（1年生～6年生）を対象とします。

【募集期間】

1995年8月23日（水）から

9月6日（水）まで

【賞】

○最優秀賞18名（各学年3名）

副賞 親子ペア航空券の提供

（弊社航空路線のうちの希望地）

○優秀賞30名（各学年5名）

副賞 画材セット

○佳作48名（各学年8名）

副賞 画材セット

【応募要綱】

①課題：「美しいわたしの島」

②作品：1995年度に描いた作品で未発表のものとします。

③画材：画用紙 四つ切りサイズ
(54cm×38cm)

※規格外又は画用紙以外の作品は審査の対象外となりますのでご注意ください。

④描画材：クレヨン、絵の具、クレパスで描いたものとします。

⑤募点数：一人一点

⑥氏名：作品の裏面右下に題名、学校名、学年、氏名、住所、電話番号を明記して下さい

【応募先】

最寄りのJ T A支店または空港所あてに学校単位か個人で持参するか、郵送により提出して下さい。郵送の場合は期限内必着をお願いします。

二十歳になったら国民年金

国民年金は、二十歳から六十歳までのすべての国民が加入する制度です。

安らぎのある福祉社会をつくり、高齢者や障害者、また大切な家族を亡くされた方々が安心して暮らせるように国民年金について理解を深めましょう。

平成三年四月一日から二十歳以上の学生も国民年金への加入が義務付けられました。

ワンポイント情報

平成三年四月一日から二十歳以上の学生も国民年金に強制加入となりました。国民年金の資格取得年月日は次の通りです。

□昭和四十六年四月一日前に生まれた人

- ①二〇歳に達したとき学生でなかった人は二〇歳に達した日
- ②二〇歳に達したとき学生であった人

- (1) 平成三年四月一日前に学生でなくなった方は学生でなくなった日
- (2) 平成三年四月一日に学生であった方は平成三年四月一日

□昭和四十六年四月二日以後に生まれた人は二〇歳に達した日

障害年金や遺族年金の支給要件

障害年金や遺族年金は、加入期間の三分の二以上保険料を納めていないと年金は受けられません。そのため、大学や専門学校に通う学生も万が一の場合に備えて国民年金に加入しなければいけません。

問い合わせ・国保年金課 ☎二一九九一一（内線二二七）

☎二一八一二六（直通）

7月の市民カレンダー（July・文月）

10日(月)赤口	市制施行48周年記念式典		四か字豊年祭（オンプール）
11日(火)先勝	住民検診（新川地区・12、13日まで） 離乳食指導 地籍調査現地説明会（宮良小体育館）	22日(土)赤口	伊原間豊年祭、平久保豊年祭 八重山家畜市場セリ開催 四か字豊年祭（ムラプール） 大浜豊年祭（～23日） 平得・真栄里豊年祭（～23日）
12日(水)友引	母親学級、妊婦乳児等保健相談 水難救助訓練（消防本部）、専修学校ガイ	23日(日)先勝	こども博物館教室（24日まで） 参院選投票日
13日(木)先負	人権困り事相談、行政相談（文化会館） 麻疹予防接種（14日まで）、1歳6か月 健康診査	24日(月)友引	技術講習会「ワープロ・パソコン科」受講者 （25日まで）、乳幼児専門健診（26日まで）
14日(金)仏滅	市立小中学校長研修会（平得公民館） 九州ブロックスポーツ少年団軟式野球交流 港の衛生週間・検疫記念日	25日(火)先負	住民検診（天川自治区、八島町・27日まで） 沖縄県治水協会通常総会（石垣市）
15日(土)大安	女性学講座開講式（市立図書館視聴覚室） 進学相談会（～16日、市民会館中ホール） 青少年の深夜はいかい防止県民一斉運動	26日(水)仏滅	住民検診、母親学級 平成七年度調理師、製菓、衛生師試験 （八重山保健所）
16日(日)赤口	戦後50周年記念事業 演劇「洞カマ窟」 公演（市民会館大ホール）	27日(木)大安	技術講習会受講希望者面接（第一会議室） 2歳3か月児・1歳1か月児歯科検査 友好都市サッカー交流大会（8月1日まで） 中学生郷土史講座（29日まで）
17日(月)先勝	住民検診（石垣、美崎町地区・20日まで） 普通救命講習会	28日(金)先勝	健康教育（川平集落センター） 沖縄県内市町村発行広報展（31日まで） 八重山紙展（～30日、市民会館展示ホール） 第六回日本最西端与那国島国際カジキ釣り 大会（～30日）
18日(火)友引		29日(金)友引	家族計画、乳児一般健康診査
19日(水)先負	平和特別企画展「沖縄の戦後50周年写真展」 （市民会館・24日まで） 母親学級、食生活改善指導	30日(土)先負	
20日(木)仏滅	蘇澳鎮親善訪問団来島（24日まで） 市・県民税（第1期分）督促状発送 1歳6か月児健康診査、川平豊年祭 宮良豊年祭（～21日）	31日(月)仏滅	固定資産税（第2期分）納付期限 住民検診（大川1～5町内・美崎町）
21日(金)大安	森と湖に親しむ旬間 夏の交通安全県民運動（～30日）		